



横浜さかえ内科通信

リウマチ性多発筋痛症とは？

リウマチ性多発筋痛症は、50歳以上の中高年の女性に多く発症する病気です。「リウマチ」という名前ですが、関節の変形もなく、「関節リウマチ」とは全く違う病気です。「筋痛症」とついていますが、筋力低下や筋の委縮なく、筋肉というよりも肩関節などに強い痛みが見られます。ほとんどの方が両肩の痛みを訴えます。また、上腕、太もも、おしりなどに痛みを感じることもあり、微熱や倦怠感、朝起きがけ30分間肩や股関節の周囲のこわばりが続くのが特徴です。発症すると特に腕を上げた

り、寝返りを打ったり、起き上がったたりするのがつらくなります。症状は1〜2週間程度の短期間で一気に進み、それ以降も続くことが多く、高熱や食欲不振、うつ症状などを伴う場合もあります。原因は現在のところはつきりとは分かっていません。

採血や画像などの検査で診断

診断のためには採血を行い体内の炎症反応を示す数値を確認します。また、画像検査なども行い、似たような症状を示す関節リウマチなどの膠原病、繊維筋痛症、がんや感染症などではないことを確認し、診断を確定します。

リウマチ性多発筋痛症の治療

予後は良好であり、ステロイドが良く効きき、日常生活を支障なく送ることが出来ます。しかし治療は長期間に渡るので、ステロイドの副作用（糖尿病、骨粗鬆症、感染症など）には注意が必要です。

巨細胞性動脈炎とは？

また日本人ではまれですが、強い頭痛、食事をとる際にあごが痛むなどの症状がある場合、失明の危険を伴う「巨細胞性動脈炎」も起こしている可能性があります。これはリウマチ性多発筋痛症に合併することがあります。この場合では、大量のステロイドを使うな

ど、違った治療が必要です。

最後に

リウマチ性多発筋痛症は、高齢化社会において今後増えるかもしれないと言われていて病気の一つです。両肩の強い痛みでお困りの時は、是非かかりつけ医にご相談ください。



横浜さかえ内科

診療時間 月 火 水 木 金 土 日 祝

9:00~13:00 ● ● ● / ● ○ /
15:00~19:00 ● ● ● / ● / /

受付開始・終了は15分前 ○土曜日は9:00~14:00

JR本郷台駅徒歩 3分

栄区小菅ケ谷 1丁目 15-2 長嶋本郷台マンション 2F

TEL.045-897-5515